

特集

新任科長の専門分野、今後の診療方針について

1 呼吸器内科

科長 大塚 浩二郎

2018年4月1日付けで神鋼記念病院、呼吸器内科の科長に着任いたしました。今までは神戸市立医療センター中央市民病院に勤務し、喘息や慢性咳嗽、COPDを専門としておりますが、実臨床ではがん、感染症、間質性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群など多岐にわたって診療を行ってまいりました。

前所属の中央市民病院は広域の医療圏を対象としていましたが、今後は地域により近い立ち位置となります。呼吸器疾患は高齢化とも密接に関連しており、慢性期の長期管理や繰り返す入院加療など地域とより深い連携が求められます。また、他臓器の併存疾患が多いことも呼吸器疾患の特徴であり、地域の先生方や院内の他科と連携し患者さんに安心してかかっている呼吸器内科を目指したいと思っております。当科は、鈴木副院長、吉松救急センター長を含めた7人のスタッフと2人の専攻医がおり、更に3名の

呼吸器外科医を加えた12名で呼吸器センターを構成しています。当センター外来は連日5診開けており、垣根のない開かれた呼吸器センターを目指しております。重症・難治例や診断に苦慮する例はもちろん、慢性疾患の定期評価や画像評価などそれぞれのニーズに合わせた医療の提供が目標です。なお、専門領域である喘息については近年病態解明が進み各種抗体療法や気管支鏡で行う気管支サーモプラスティなど治療選択が広がっており当科においても積極的に行っております。コントロール不良例などおられましたら、ご紹介いただければ幸いです。まだ着任したばかりですが、スタッフの医療に対する姿勢、若い先生の意欲、コメディカルも含めた呼吸器センターの充実ぶりに大変感心しております。引き続き地域に信頼される呼吸器センターでいられるよう、チーム一丸となってがんばっていく所存です。よろしく申し上げます。

2 膠原病リウマチ科

科長 簾智 さおり

このたび2018年4月1日付で膠原病リウマチ科の科長を拝命しました。設立から8年となる同センターの診療部門を熊谷俊一センター長のもと、当科スタッフとともに診療体制を強化し、これまで以上に地域医療に貢献できますよう努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■専門分野

神戸大学大学院博士課程修了後、北野病院にリウマチ膠原病内科立ち上げから約13年間勤務し、リウマチ性疾患全般の診療と臨床研究に携わってまいりました。最近、院内リウマチ医療チームを結成し、リウマチ性疾患の地域医療連携にも力を注いでおりました。

■治療方針

近年、リウマチ性疾患領域において、新規治療薬の承認や適応症拡大があり、治療選択の幅は広がってきております。そのため、リウマチ専門医による早期診断・早期治療の重要性が増しております。また、リウマチ性疾患の多くは

一度診断がつくと、長期間あるいは一生、病気と付き合っていく必要があります。若年女性も多く、その方の人生に寄り添った医療を行う事を心がけています。一方で、診断精度の向上による患者数増加、薬物治療の進歩による長期予後改善により、患者数は増加傾向であり、診断確定したすべての患者さんを当科で永続的に診療することは困難な状況です。軽症の患者さんやある程度ご病状の落ち着いた患者さんにつきましては、紹介元かかりつけ医への逆紹介や併診依頼、近隣のリウマチ専門医クリニックへの紹介といった、様々な形での連携をお願いすることとなるかと思っております。できるだけ速やかに新規紹介患者さんの診察が可能となりますよう、近隣医療機関の皆様のご指導とご協力を賜りたく存じます。そこで、お忙しいとは思いますが、ご興味のある先生がおられましたら、6月21日開催予定の「第3回神鋼記念病院 連携医と集う会」に是非とも足をお運びいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

3 神経内科

科長 古川 貴大

2018年4月1日に徳島大学病院から赴任した古川貴大と申します。神戸大学を卒業し、大阪で研修した後、徳島大学神経内科に入局しました。大学ではT細胞の生存維持についての基礎研究や変性疾患の免疫学的側面についての臨床研究を行い、多発性硬化症や重症筋無力症、脳炎、筋炎などの神経免疫疾患を専門としております。一方、研修医時代にパーキンソン病を中心に変性疾患を多く診療する機会に恵まれ、また、徳島大学病院では外来医長として頭痛やてんかん、認知症、末梢神経障害、脊椎脊髄疾患など広く診療を行っていました。これまで当科はジストニアという非常に専門的な疾患の診療を特色としていたのですが、今後は地域でより必要とされる神経内科を目指し、神経疾患全般を広く、そして、丁寧に診療していきたいと考えております。高齢化社会の進行に伴い、パーキンソン病やアルツハイマー型認知症などの変性疾患が増加していますが、様々な治療法の開発により、

今後はできるだけ早期に診断して治療を開始することが求められるようになると思われます。動作緩慢や安静時振戦、病識の乏しい近時記憶障害など、疑わしい所見がありましたらぜひご紹介ください。また、手足のしびれ感や筋力低下を来す疾患は、手根管症候群から頸椎症、腰椎症などの頻度の高い疾患から、筋萎縮性側索硬化症といった稀少な難病まで幅広くあり、診断や治療をどうするか悩まれることは多いのではないのでしょうか。当科では電気生理検査を行っており、特に末梢神経や脊髄に関して、MRIやCTなどの形態学的所見とは異なる観点から評価を行うことができ、診断や治療方針策定に寄与できると考えています。現在は神経内科専門医2名という体制ですので、地域の皆様方と連携を取りつつ、専門性を活かして地域に貢献していく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 講演会のご案内 ■

第6回 医療講演会 ～最前線の診療～

日時：2018年5月31日(木) 18:00～19:00
場所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
演題：**非小細胞肺癌の治療戦略と病理組織検体採取の重要性
～分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬～**
演者：神鋼記念病院 呼吸器内科 医師 井上 明香
その他：日本医師会生涯教育講座 1単位申請しております。
お問合せ先：神鋼記念会 総合医学研究センター
担当：兒山 TEL：078-261-6711

神鋼記念病院血液内科講演会

日時：2018年6月4日(月) 18:00～19:00
場所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
演題：**血液内科の現状と未来**
演者：京都大学大学院医学研究科・医学部
血液・腫瘍内科学 高折 晃史 教授
その他：日本医師会生涯教育講座 1単位申請しております。
お問合せ先：神鋼記念会 総合医学研究センター
担当：兒山 TEL：078-261-6711

第30回 研究カンファレンス (個の医療研究会共催)

日時：2018年7月26日(木) 18:00～19:00
場所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
演題：**嚥下障害予防への道**
演者：神鋼記念病院 耳鼻咽喉科 科長 浦長瀬 昌宏
その他：日本医師会生涯教育講座 1単位申請しております。
お問合せ先：神鋼記念会 総合医学研究センター
担当：兒山 TEL：078-261-6711

消化器センター便り②

先月号から「消化器センター便り」と題してコラムを掲載しています。消化器センターには、消化器内科、消化器外科、腫瘍内科、緩和治療科、放射線科、病理診断センターの各科が所属しています。今回は消化器内科の医師についてご紹介します。山田部長は平成14年から当院に在籍し、消化器全般はもとより肝炎診療および肝臓に対するラジオ波焼灼術を担当しています。塩科長は平成26年に当院へ着任、現在科長として消化器内科をまとめています。千田医長は平成17年から消化器全般の診療をおこなっています。松本医長は昨年4月、生田医長は今年4月に当院着任となりました。以上5名のスタッフと専修医の黒木医師の6名で外来・入院診療、内視鏡検査・処置、救急対応をおこなっています。

毎週月曜日に「消化器センター外来」を開設しています。内科、外科問わず消化器疾患全般の診察をおこないます。内科か外科かどちらへ紹介したらよいか迷われる患者さんがおられましたら、是非この外来をご活用いただくようお願いいたします。ご予約は地域連携室(TEL: 078-261-6739)でお取りいただけます。今後も地域の先生方のお力を借りながら、意義のある「消化器センター」になるよう工夫してまいります。ご意見、ご希望がございましたら地域連携室までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

ご案内 「消化器センターフォーラム2018」の開催

7月5日(木)18時30分から、
神戸大学放射線診断学分野教授、村上卓道先生をお招きし、
当院大会議室で「肝画像診断とIVR治療」についてご講演いただく予定です。

医師の人事異動 (2018年3月退職)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ・松本 真一 (神経内科 部長) | ・大田 和世 (消化器内科 医師) |
| ・足立 佳世子 (新神戸ドック 医長) | ・賀來 泰大 (泌尿器科 医師) |
| ・辻 剛 (膠原病リウマチ科 医長) | ・曾根 尚彦 (循環器内科 医師) |
| ・木村 豪太 (整形外科 医長) | ・深澤 麻衣 (新神戸ドック 専攻医) |
| ・太田 彩貴子 (消化器内科 医長) | ・吉川 祥子 (総合内科 専攻医) |
| ・五島 悠太 (血液内科 医師) | ・木下 恵里沙 (形成外科 専攻医) |
| ・伊藤 公一 (呼吸器外科 医師) | |

Medical News

2018年5月

Vol.131

Shinko
Hospital

Contents

- 特集
新任科長の専門分野、
今後の診療方針について
- 講演会のご案内
- 新入職医師のご紹介
- 消化器センター便り②
- 医師の人事異動

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して、
皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、
安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、
プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、
地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、
切れ目のない医療サービスの提供に
努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かな
スタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47

TEL:078-261-6711(代表)

FAX:078-261-6726

URL:<http://www.shinkohp.or.jp/>

発行責任者: 理事長 山本 正之

編集責任者: 神鋼記念病院広報委員長
山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 検索

<http://www.shinkohp.or.jp/>